

西大和学園報

第 48 号

2017.5.20

発行
西大和学園

ごあいさつ

学校法人 西大和学園 理事長



田野瀬 太樹

平成二十九年年度
がスタートし、今年
も希望に目を輝か
せた元氣な新人生を

迎え入れることができました。

今年の中学、高校の入学式ではいずれも、最近世界を驚かせた宇宙開発関連のニュースを題材に話をしました。中学ではNASAが発見した地球によく似た惑星の発見や、土星の衛星に生命誕生の可能性を示す痕跡が見つかったことなど、近い将来に地球外生命の発見がなされるかもしれないという話から、夢中になれる分野を見つけて学問を深く探究して欲しいと語りかけました。

高校の入学式では、いよいよ火星への有人探査に向けて訓練段階に入っているという話題に関連し、多様性がもたらすチームの強さとという話をして話しました。海外探究プログラムなど異文化を知る様々な行事や、多様性のある学校環境の中で、高度なコミュニケーション力や他者を思いやる心、様々な立場や考え方を受け入れることができる許容力、人間力を育てて欲しいという願いを伝えました。

新人生がもたらしてくれた学校内のフレッシュな活気を感じながら、新人生はもろろんすべての生徒にとって西大和学園での学校生

活が有意義なものとなり、大きな成長を遂げてくれることを願わずにおれません。これからも西大和学園ならではの特色ある教育内容に磨きをかけ、生徒一人一人の個性や能力を最大限に伸ばすため精一杯取り組んでまいりますので、引き続きご支援を賜りますようお願い申し上げます。

立志は万事の根源なり



学園長 中学校長
上村 佳永

桜花爛漫、素晴らしい季節がやってきました。夢や希望に

輝く新人生を迎えて、学校全体、活気に満ち溢れた新年度がスタートしました。生徒の皆さんが、世界を舞台に国際社会で貢献できるグローバルリーダーとして立派に成長してくれることを願ってやみません。先日の入学式では、次の三点についてお話をさせて頂きました。一つ目は、「思いやりの心と笑顔のあいさつを大切にしてください」ということです。人と人の関わりの中で、人間は成長できるものでもあります。思いやりの心と笑顔のあいさつを大切に、常に相手の気持ちを考えて、人の痛みがわかる人間になってほしい。二つ目は、「失敗を恐れず、常に挑戦する人であれ」ということです。これからの学園生活では、時には、頑張っても思い通りにならずにくじけそうになることもあるでしょうが最後まで諦めないこと。そして、様々な活動

(学校行事、部活動、奉仕活動の特別活動等)にも積極的に取り組み、夢の実現に向けて常に挑戦する人であってほしい。三つ目は、「立志は万事の根源なり」ということです。これは「松下村塾」の吉田松陰の言葉です。志は人が行動するための基盤です。皆さんは、何のために西大和学園に入学したのですか。この西大和学園で何を学ぶのですか。是非、皆さんには、自分自身の地位や名声、経済的な豊かさを求めることに止まらずに、その優れた能力や才能を世のため人のため、社会のためを生かしてほしい。人間は誰にも皆、その人にふさわしい役目と生き方があります。自分はこのように人生を歩みたい」という心の持ち方こそ「志」であり、人は志を持ち、その表現に向けて努力する過程において、生きがいと幸福感を強く感じるものです。この三点を心に止めて充実した学園生活を過ごしてこれることを願っております。

また、今年度も教育内容等の改善改革に全力で取り組んで参ります。今まで築き上げてきた西大和学園の良き伝統を継承しつつ、我々教職員も、生徒諸君、保護者の皆様と一体となり、新たな心にも勇気をもって挑戦して参りたいと考えております。子供達の健全な成長を望み、豊かな個性を育てていくためには、学校と家庭がそれぞれの役割を果たしながらも、相互に補充し合い、連携を密にしていくことが重要と存じます。今後とも引き続き、本校教育に深いご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

自分に挑め！未来を拓け！！

高等学校長

中岡 義久



本校は三十二年目を迎えました。開校

当時といえば、TVはブラウン管、録画はVHSの時代です。日本はGNP世界第二位を維持しバブル期に突入しようとしていました。修学旅行先の中国は、日本の十五パーセント程のGNPで、人々はみな人民服を着用していました。

しかし現在は大きく変化しました。例えば、二十年前インターネット登場により世界中の情報が入手可能となり、十年前には携帯電話、八年前にはこれまでにSF映画にしか出てこなかった音声通話可能な小型コンピュータのスマートフォンを誰もが持ち、生活自体が急変しています。また、中国のGNPは日本の二倍以上となり、世界各国がしのぎを削り合うグローバル時代に至っています。

では、今の中高生たちが社会に出る十年後、十五年後の世界はどうなるでしょうか。おそらくAIやロボット、ナノテクノロジー、宇宙開発などの発展により「想像を超えた世界」となり、ルールが敷かれていない未来世界を、誰もが走っていることでしょうか。当然、必要とされる力も変化してきます。未来世界に対応するためには、「自ら多数の有益な情報を入手し活用する力」「何事も能動的に学び取る力」「挑戦をし失敗があればそれを乗り越える力」が必要だと考えます。

そのような力をつけるために、SSHやSGHという高校内容を超えた取り組みや、本校独自の多彩な行事や体験学習、海外へ行く探究プログラムや留学制度、海外学生と触れ合うリベラルアーツプログラムなどを多様に利用し、様々な分野において世界をリードする人材になってほしいと願っています。その達成に向けて、私どもは今後も誠心誠意努力してまいりますので、今後とも何卒ご理解、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

日本一の進学校を目指して

進学
統括室

大学入試改革

グローバル化・多極化、少子高齢化、人工知能やロボット等の急激な科学技術の発展など新たな時代に向けて国内外に大きな社会変動が起こっている中、文部科学省は、これまでの知識偏重の教育では未来社会に対応できないため、希望に満ちた未来を築くことを目指し教育改革を計画しています。未来社会で重視される力として次の三つを挙げています。

- ① 「十分な知識と技能」
- ② 「十分な思考力・判断力・表現力」
- ③ 「主体性を持つて多様な人々と協働して学ぶ態度」

文部科学省は、教育改革の一環として、現在の中学3年生が大学受験に臨む2021年から大学入試改革として次のような方向性を示しています。これに対応していくためには、単なるペーパーテスト対策ではなく、主体的な学びを目指していく必要があります。

1. センター試験を廃止し、新たに「大学入学者希望者学力評価テスト（仮）」を導入

知識だけでなく、思考力・判断力・表現力など多面的・総合的に評価するものとする。つまり選択問題だけでなく、記述問題や多数の正解があり得る問題、教科を越えて知識・技能の活用を求める問題など、多様なパターンの出題の導入が考えられています。また、英語は「話す」「書く」「聞く」「読む」の4技能を評価する方針が示されています。

2. 各大学は、「大学入学者希望者学力評価テスト」

と「主体性・多様性・協働性」をみる
様々な評価方法（面接、集団討論、小論文、高校での学習・活動成果など）を組合せ、多面的・総合的に評価する入試へと改革することが求められています。

東京大学・京都大学の入試改革

新たな時代に対応するため、既に各大学は入試改革を始めています。多面的・総合的に評価する入試として、東大の英語問題や推薦入試、そして京大の特色入試がよく挙げられます。今後はこのような力を養成することが求められています。

下の絵に描かれた状況を簡単に説明したうえで、それについてあなたが思ったことを60～80語の英語で述べよ。（H27 東大英語）



ルネサンス期にヨーロッパに大きな社会的変革をもたらした「火薬・羅針盤・活版印刷術」は三大発明と呼ばれている。なぜ三大発明と呼ばれているかを簡単に考察した後、2050年頃までに期待する3つの技術革新を挙げ、それらの相乗効果をもたらす社会的革命を説明せよ。（H29 東大 工学部 推薦入試小論文 600～800字）

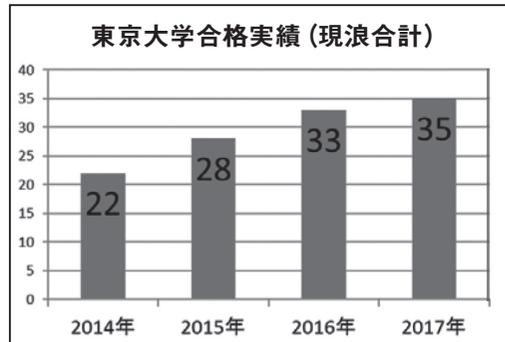
東京大学志向の増加 （平成29年度入試から見る志望動向）

新たな社会に対応しようと、生徒たちの志望動向

向にも変化が見られます。大学志望状況を見ると、ここ数年明らかに東大志望が増加しています。本校では、現時点で東大を第一志望とする生徒数は高校3年で70名前後、高校2年で150名前後です。また海外大学を目指そうとする生徒も増えてきています。研究活動や経済活動を世界的に展開していくためには、東京というグローバル都市の東大や世界のトップ大学・大学院で学ぶ必要性を感じている生徒が今後増えていくと思われます。

本校の教育改革

本校は、中学校から英語教育として、多読やフォニックス、ベルリッツと連携しての週2単位の国際理解教育やイマージョン教育などに取り組んできました。そして今年からはTOEFL iBT講座やオンライン英会話を導入し、さらに英語四技能の養成に取り組んでいます。また多面的・総合的に物事を考える力をつけるために、早くから中2のキャリア教育、中3の卒業研究、そして高校では文科省指定のSSHやSGHを取り入れ、高校の内容を超えた教育を実施しています。今後、も大学入試改革にしっかりと対応して日本一の進学校を目指し、生徒たちが将来、グローバル社会でリーダーとして活躍していけるよう様々な改革に取り組む決意をしています。



2017年 大学合格者数(国公立・海外)

■国公立

大学名	合格者	内現役
北海道	4	2
東北	1	
筑波	1	
千葉	4	1
お茶の水女子	1	
東京	35 (1)	21 (1)
東京医科歯科	1 (1)	1 (1)
東京工業	1	1
東京農工	2	
一橋	3	1
横浜国立	2	
金沢	1 (1)	
福井	1 (1)	1 (1)
静岡	1	
岐阜	1 (1)	
滋賀	1	
滋賀医科	2 (2)	
京都	40	20
京都工芸繊維	4	2
大阪	20 (1)	10 (1)
大阪教育	1	
神戸	19	11
奈良女子	2	2

大学名	合格者	内現役
和歌山	2	2
鳥取	1 (1)	1 (1)
島根	1 (1)	
岡山	2 (1)	
広島	4 (1)	1
山口	1 (1)	
徳島	1 (1)	1 (1)
香川	2 (2)	1 (1)
愛媛	2 (2)	2 (2)
九州	3	2
宮崎	1 (1)	
琉球	2 (2)	
首都大学東京	1	
京都府立	1	
京都府立医科	3 (3)	2 (2)
大阪市立	9 (2)	4 (1)
大阪府立	13	5
奈良県立医科	10 (9)	4 (4)
和歌山県立医科	1 (1)	1 (1)
広島市立	1	1
合計	209 (36)	100 (17)

()内は医学部

■海外の大学

大学名	合格者	内現役
カリフォルニア大学 バークレー校	1	1

年間行事予定 (H29.5.1現在)

10 月		11 月		12 月		1 月		2 月		3 月	
日	曜	行事予定	日	曜	行事予定	日	曜	行事予定	日	曜	行事予定
1	日		1	水	高1代休	1	金		1	木	
2	月	午前中授業	2	木		2	土	高2会員の集い	2	火	
3	火	前期期末考査	3	金	文化の日	3	日		3	水	
4	水		4	土		4	月	午前中授業	4	木	
5	木		5	日		5	火	後期中間考査 (高校3年除く)	5	金	生徒集会 授業開始
6	金		6	月		6	水		6	土	
7	土		7	火		7	木		7	日	
8	日		8	水		8	金		8	月	午後 高校入試の準備
9	月	体育の日	9	木		9	土		9	火	高校入試
10	火	後期開始式 特別校時 答案返却日	10	金		10	日		10	水	
11	水		11	土		11	月	答案返却日	11	木	
12	木		12	火		12	金		12	日	
13	金		13	水		13	土	大学入試センター試験 (H3)	13	月	振替休日 中1スキースクール
14	土	中2会員の集い	14	木		14	日		14	火	
15	日		15	火		15	木	自己採点日(H3)	15	土	
16	月	中3米国グローバル 研修プログラム~10/26	16	水		16	金		16	日	
17	火	成績確認日	17	土		17	月		17	水	
18	水		18	火	成績確認日	18	木		18	金	
19	木	ファームステイ (農村留学)(I)	19	日		19	火		19	土	
20	金		20	水		20	金		20	日	
21	土		21	火	1・2限授業・生徒集会 大掃除	21	木		21	土	
22	日		22	水	三者面談会	22	金	三者面談会(H3)	22	日	
23	月		23	土	勤労感謝の日	23	月		23	水	
24	火		24	火	天皇誕生日	24	木		24	土	
25	水		25	水	中3会員の集い	25	金		25	日	
26	木	高1海外探究プログラム	26	土		26	月		26	水	
27	金	中3代休	27	火		27	木	閉寮(17:00~)	27	土	
28	土		28	水	定期考査一週間前	28	金		28	日	
29	日		29	木		29	土	冬期休業	29	月	
30	月		30	火		30	木		30	土	
31	火		31	水		31	金		31	日	
備考		備考		備考		備考		備考		備考	
球技大会…下旬		心の教育講演会		センターマラソン(H3) …下旬~1月上旬		心の教育講演会 国公立大学二次試験出願 …下旬 内部進学説明会(J3) 中学入試 スキースクール説明会(J1)		高校入試 国公立大学前期試験 …2/25.26 私立大学入学試験…2-3月		国公立大学後期試験 …中旬	

平成29年度 西大和学園 中・高等学校

4 月		5 月		6 月		7 月		8 月		9 月	
日	曜	日	曜	日	曜	日	曜	日	曜	日	曜
1	土	1	月	1	木	1	土	1	火	1	金
2	日	2	火	2	金	2	日	2	水	2	土
3	月	3	水	3	土	3	月	3	木	3	日
4	火	4	木	4	日	4	火	4	金	4	月
5	水	5	金	5	月	5	水	5	土	5	火
6	木	6	土	6	火	6	木	6	日	6	水
7	金	7	日	7	水	7	金	7	月	7	木
8	土	8	月	8	木	8	土	8	火	8	金
9	日	9	火	9	金	9	日	9	水	9	土
10	月	10	水	10	土	10	月	10	木	10	日
11	火	11	木	11	日	11	火	11	金	11	月
12	水	12	金	12	月	12	水	12	土	12	火
13	木	13	土	13	火	13	木	13	日	13	水
14	金	14	日	14	水	14	金	14	月	14	木
15	土	15	月	15	木	15	土	15	火	15	金
16	日	16	火	16	金	16	日	16	水	16	土
17	月	17	水	17	土	17	月	17	木	17	日
18	火	18	木	18	日	18	火	18	金	18	月
19	水	19	金	19	月	19	水	19	土	19	火
20	木	20	土	20	火	20	木	20	日	20	水
21	金	21	日	21	水	21	金	21	月	21	木
22	土	22	月	22	木	22	土	22	火	22	金
23	日	23	火	23	金	23	日	23	水	23	土
24	月	24	水	24	土	24	月	24	木	24	日
25	火	25	木	25	日	25	火	25	金	25	月
26	水	26	金	26	月	26	水	26	土	26	火
27	木	27	土	27	火	27	木	27	日	27	水
28	金	28	日	28	水	28	金	28	月	28	木
29	土	29	月	29	木	29	土	29	火	29	金
30	日	30	火	30	金	30	日	30	水	30	土
		31	水			31	月	31	木		
備考		備考		備考		備考		備考		備考	
クラブ紹介 自転車通学者願い		自転車安全指導 歯科検診 海外探究プログラムコース 保護者説明会 (H1)		人権教育講演会(中・高) 富士登山保護者対象 説明会 (J2) 郡中体		心の教育講演会(中・高) 高校野球応援 (H2)		文理選択・ 海外探究プログラム説明会 (H1)		避難訓練 人権教育講演会 県高校総体 推薦入学説明会 大学入試センター試験 出願説明会 芸術鑑賞会 中3語学研修旅行説明会 ファームステイ (農村体験)説明会 (J1)	

学校行事

中一 企業による出前授業



東レの授業のひとつ

れている中空系フィルターを用いて、色水の浄水実験を行ったり、江崎グリコの授業では、ジュースを薄めた液体から、自身の感じる味覚を調べたりと、講義だけでなく、実験やワークショップを通して、各企業で行われている取り組みを深く学ぶことが出来ました。講師の方は、記者、研究者、営業職の方など、第一線で活躍している方々で、現場での経験や知識を臨場感たっぷりにお話ししていただきました。今回の取り組みは、社会や将来に対する視野を広げるきっかけとなりました。



江崎グリコの授業のひとつ

昨年年度の中学一年生では、六社の企業の方々から講師として本校に来校し、企業で行われている取り組みを紹介する「企業による出前授業」を十一月二十二日に行いました。協力企業は、江崎グリコ株式会社、大和証券株式会社、東レ株式会社、日本生命保険相互会社、(株)読売新聞大阪本社で、生徒はの中から希望する一社の授業に参加しました。東レ株式会社の授業では、東レの製品で使われて

中一 富士登山



雲海をのぞむ

今回の富士登山は山頂に到達できなかったものの、良い経験になったと思う。
登山一日目。僕たちは吸い込まれるような晴天を登り始め、四時間ほどで七合目、東洋館に到着した。高山病に少し苦しみながらも、景色を楽しむなどまだまだ楽な登山だった。
登山二日目。午前三時に目を覚ました僕たちは予定時刻から一時間遅れて出発した。西大和学園史上初めて全員で東洋館を出発できた。風が吹き荒れ、雨も降りだした。深い霧の中、岩場を登り砂の道を歩いた。こうして登頂した標高三三三三m。すなわち本八合目。藤岡先生によつて下山が決断された。
発表されたとき、藤岡先生は少しちらちらと頂上を備を

いよいよ登山開始!



食いしばって悔しそうに、僕たちの方を見て悔しそうな顔をしていた。
「全部僕のせいです。」
と言っていた。別に先生のせいでもなく、自然のせいなのに責任を背負おうとする先生が何と言えは良いか分からないほどカッコ良いと思った。五合園に下りてきたときはみんなにカッコ良いと言われ

「当たり前のことを言われてもうれしくない。」
と笑って答えていたが、とても悔しかったと思う。なぜなら、東洋館を脱走せよと出発できたのに山頂まであと少しという所で天候に足止めを食らってしまったからだ。
とにかく、全員で東洋館を出発できた僕たちの団結力の強さをとても感じ、容姿以外からくるカッコ良さかわかった四日間だった。(生徒による感想文)

中三 キャリアアップセミナー



文部科学省の大臣室にて

中学三年生は五月二十四日から五月二十六日に東京キャリアアップセミナーを行いました。これまでも中学二年時において社会体験を目的とした体験学習を行ってきましたが、それだけにとどまらずに大学進学をも目標にした取り組みを今年度から始めました。

研究室訪問、スーパーコンピューターの見学を行い、研究の最先端を垣間見ることができました。また東大発のベンチャー企業を訪れ、新しい可能性に刺激を大いに受けました。最終日には立法院である国会議事堂、または行政府の要である防衛省・財務省・文部科学省を訪れ、日本を動かす仕組みについて学びました。
宿泊先のホテルには本校OB・OGの東大生が大勢集まってくれ、現役生たちに学生時代の苦労話や大学生生活の魅力などを語ってくれました。
これらの取り組みを通じて、生徒たちは自己の進路形成に大きな刺激を受けたことと思えます。



大勢の卒業生が集まってくれました

高一 海外探究プログラム



現地校での文化交流

高校一年最大の行事である「海外探究プログラム」に、昨年度も「インド」「ベトナム・カンボジア」「シンガポール・マレーシア」の三つのコースに分かれて行ってきました。海外の地を訪れ、ただ見聞するだけの「修学旅行」とならないよう、出発前から事前学習を全員に課し、訪問先では、現地の方々との交流の機会を数多く取り

入れ、異文化や早期解決が求められる諸問題を深く理解するための「研修プログラム」を実施しました。開発と発展、貧困と雇用、人種・宗教の相違など、日本と距離的に近いアジアの国々のあまりにも異なる「実際」を目の当たりにした生徒たちの感想は驚きの連続だったようで、先入観や偏見をなくし、現地の感覚を肌で感じる貴重な経験ができ、国際理解や語学力の必要性を改めて感じたことでしょう。タージマハルやアンコールワットといった名所の美しさも魅力的でしたが、現地でふれあった人々のパワーや屈託のない笑顔も印象的で、旅の思い出として生徒たちの脳裏に鮮明に残っています。

戦争証跡博物館での平和学習



SSH (スーパーサイエンスハイスクール)



京都大学ラボステイでの実験の様子

SSHでは、今年度より新たに第四期の指定を受け、「高大産連携型課題研究とメンター制度による卒業後まで活きる科学技術系リーダー育成法の確立」をテーマに様々なプログラムを実施しています。具体的には、中一で体験学習、中二でクエスト、中三で卒業研究を従来通り実施します。高校ではグループで自由に課題研究を経験したのち、京都大学や奈良先端大の研究室にてラボステイを行います。また、上級生が下級生を指導する制度も準備中です。様々なプログラムを通して探究心や論理的思考力の育成を目指します。

SGH (スーパーグローバルハイスクール)

SGHでは、高校一年生の二月から同じ問題意識をもつ仲間とチームを作り、高校二年生ではベトナム・カンボジア・インドの貧困問題解決のためのビジネスプランを作成しました。海外探究旅行で現地を視察し、日本の強みを活かし、現地の人に受け入れてもらえるプランを模索していく中で、JFC主催のビジネスプラングランプリに応募することによって、自分たちのプランがどこまで通用するか挑戦しました。

研究発表会では、発表を全て英語で行い、スライドの見せ方や強調の仕方にも気を配り、聴衆に響く発表を行いました。



ビジネスプランについて、実物を交えて発表



大和大学

Yamato University



開学四年目を迎える大和大学。JR吹田駅下車すぐ、阪急吹田駅から徒歩約一分というアクセスに恵まれた絶好のロケーション、西大和学園が創立した大学という信頼感から、開学以来順調に受験生を増やし、昨年度入試においては延べ六〇〇〇名を超える受験者を迎えることができました。

二〇一六年四月開設の西日本唯一の「政治経済学部」は、少数精鋭の徹底指導体制、日本を代表する三〇社以上の企業との連携、現役国会議員、元官僚トップによるリレー講座、松下政経塾での合宿研修導入など、他に類を見ない教育を展開し、はやくも関関同立・産近甲龍の一角に食い込む勢いを見せています。

加えて、かねてより総合大学をめざす本学では、二〇一九年四月には「理工学部」を開設します。四月からは新たな理工学部棟の建設およびキャンパス拡張工事がスタートしています。

どうぞ今後とも大和大学にご注目いただきとともに、いっそうのご声援を賜りますようお願い申し上げます。



学園長 西川 勝行

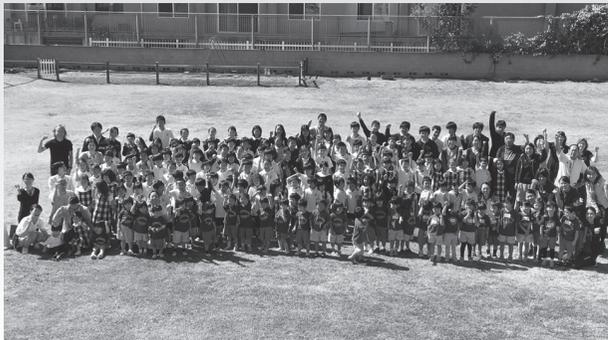
西大和学園育友会の皆様、こんにちは。西大和学園カリフォルニア校の学園長を勤めております西川勝行と申します。西大和学園カリフォルニア校もここロサンゼルス日本人コミュニティでは、知らない人がいないまでに成長し、当地における日本人教育の一翼を担っております。それでは私たちの学校、NAC (Nishiyamato Academy of California) について紹介いたします。

創立二五年目のアメリカ西海岸唯一の文部科学省認定の「私立全日制日本人学校」です。学校があるのはロサンゼルス郊外のロミタ市です。この地域は日本人がとて多く在校生のほとんどがこの地域の日系企業の駐在員の子供たちです。幼稚園、小学校、中学校の一四学年で約一六〇人の子どもたちが在籍しております。また二〇二二年に開校した土曜補習校もこの四月には六三〇人になり全日制、土曜補習校合わせ七九〇名を超える大所帯になり、学校全体が活気に満ち溢れています。土曜補習校とは、普段アメリカカの現地校に通って土曜日だけ日本語と日本の教育を受けるための学校で、駐在員と現地に永住している日本人及び日系人の子どもたちがたくさん通っております。

NACでは、子どもたちの個性を伸ば

NISHIYAMATO ACADEMY of California

西大和学園 カリフォルニア校



し、豊かな人間性と感性を育み、思いやりのある真の国際人の育成を目指すことを教育目標として日々懸命に取り組んでおります。これからもこのカリフォルニアで日本の本校の皆さんに負けないようにがんばる子どもたちを育てて行きたいと思っておりますので、育友会の皆様方には、今後とも暖かいご支援ご声援を賜りますよう、何卒、宜しくお願い申し上げます。